



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA
CHARTED 1986.4.7

2026.9

No.481

第1例会: 毎月第2木曜日18:30～ 第2例会: 毎月第4木曜日18:30～ 会場: YMCA東山荘 TEL:0550-83-1133 FAX:0550-83-1138
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052 (公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
OFFICE: YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL: tozanso@ymcajapan.org

会長: 前原 末子 書記: 杉山 博恵 会計: 内海 昭美 監事: 岩田 郁代

国際会長主題 「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」

アジア地域会長主題 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」

東日本区理事主題 「挑戦なくして進化なし」

富士山部部長主題 「見せましょう ワイズの底力を スクラム組んで」

御殿場クラブ会長主題 「和顔愛語の心で クラブ活動と奉仕を」

御殿場クラブ活動方針

2 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。

4 DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。

1 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。

3 健全なる青少年のために、YMCAと共に力を注ぐ

5 EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。

2026年10月度例会プログラム

月日時間 2026年10月8日(木) 18時30分

受付 内海昭美Y's

司会 岩田郁代Y's

1. 開会の言葉 司会
2. 開会点鐘 会長
3. ワイズソング 一同
4. ワイズの信条 一同
5. 聖句について 森田義彦Y's
6. 会長挨拶 会長
7. 食前感謝 杉山博恵Y's
8. 食事
9. 折り紙を楽しもう

講師

高橋美佐子様

10. 誕生日・結婚記念日

全員

11. スマイル・YMCA基金報告

内海昭美Y's

12. 閉会の言葉

司会

13. 閉会点鐘

会長

～今月の聖句～ 創世記 7章 1節

「さあ、あなたとあなたの家族は皆、箱舟に入りなさい」

今年も何と災害の多い年でしょうか。地震が頻発し、全国各地を豪雨が襲っています。

そのような時、“ノアの箱舟”を思い出します。聖書は読まなくても“ノアの箱舟”を知っている人は多いと思います。大きな洪水の来襲を神から告げられ、ノアが箱舟を用意する。神に従う人と清い動物を7つがい乗せることを許される。神に従うとはいったいどのようなことなのか？清い動物とは？あなたはのでしょうか。箱舟に乗るべき人物かと思いますか？神に従うとは自己中心的な人物でなく利他の精神を持つ

と、他者の友を敬う、物だと思ひます。

10月お誕生日

秋田昭子パートナー

10月結婚記念日

自己申告

Congratulations!

9月例会報告

在籍数	16名	メネット	0名	スマイル報告	22,000
出席者	13名	コメント	0名	スマイル累計	575,066
メキップ	名	ゲスト	0名	YMCA基金	3,102
出席率	81%	ビジター	10名	YMCA累計	278,217
修正出席率	%	出席者	10名	BF活動切手	0
		合計	23名		

BF便り



ジュース・ビールを飲んだらプルトップを外そう。

手紙がきたら切手を切ろう。



例会報告

前原 末子

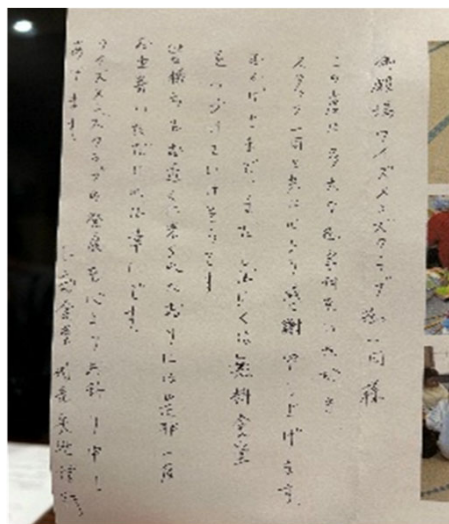
バーベキュー例会が 17時から司会の杉山ワイズの挨拶から始まりました。
伊東クラブから4名、富士五湖クラブから4名、静岡YMCA理事・小林ワイズ 富士山部主査・長谷川ワイズ、遅れて富士山部長・増田ワイズがお見えになり総勢23名、台風25号が近づいているだけに雨の心配をしながらの例会です。 今月の聖句は愛についてです。愛は忍耐強い。愛は情け深い。妬まない。愛は自慢せず 高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、苛立たず、恨みを抱かない。愛にはいろんな愛があることを教えられました。 小林ワイズから挨拶をいただきブルーミュージックの説明がありました。10月17日、山中湖のYMCAでキャンプファイヤーをやったり、その場で人との交流やYMCAとの連携強化、地域とつながりなど目的にするようです。 各クラブは、それなりにブルーミュージックと言われる活動が行われていることが多いです。御殿場クラブの、バーベキュー例会もその一つです。御殿場クラブでは、9月の例会には子供食堂に対して毎年寄付金をしております。過去に御殿場クラブのワイズメンだった矢地様が長い間頑張っておられるのに敬意を払う意味の寄付です。これからも頑張っていきたいと思っております。 バーベキューが始まり、雨も気にしながら、皆様一人一人マイクを回しながら自己紹介と一言、皆様の楽しいお話で大笑いをしました。最後に川上ワイズの防災についてのお話があり、皆さん聞き入っておりました。



富士山部部長 増田 隆様挨拶
「釜揚げしらす」をいただきました



バーベキュー例会の様子



元ワイズの仲間矢地様からのお礼の手紙



子ども食堂の様子





雨脚が強くなる中、9月26日にYMCA東山荘で富士山部のワイズメンズクラブのメンバー20余名が参集し第1回会員増強（EMC）セミナーが開催された。会は富士山部の要職を兼務する長谷川等Ys（沼津クラブ）によって進められた。

冒頭、富士山部・部長増田隆Ys（富士クラブ）の挨拶から始まり、増田部長は富士山部に留まらず東日本区全体で会員が減少していることに危機感を持たれていることに触れ、ご自分が入会された当時を振り返り、Ys活動の楽しさ、意義について話された。続いて次期東日本区理事の小林 隆Ys（熱海グロリークラブ）が挨拶され、増田部長同様にYs活動の楽しさ、意義についてお話されると共にワイズ活動の変化の必要性について話された。御二人共、ワイズメンズクラブに入会されたのは知り合いから誘われてのことで、特段YMCAの活動に共感し、ボランティアな働きに興味を持ったからではないとのこと。しかし入会后、仲間とのYs活動の楽しさや地域貢献の意義を経験しクラブに在籍してきたことを話された。近くに都市YMCAや学生YMCAが存在しているわけではなかった。しかし自分たちで地域の子どもの活動を通して、YMCAとして活動してきたことは価値があったと思ってもらえるとのことであった。

続いて近年、会員増強に顕著な熱海クラブ細田会長からその術をお聞きした。細田会長は会員増強に特段の策があるのではなく、楽しい会であることを誘い水とされている事、お酒を伴う事も多いがあくまで親睦の範囲として行っている事などをお話された。

次に各クラブの新入会員の紹介、挨拶が行われた。青木一平ワイズ（熱海クラブ）、伊藤賢一ワイズ、金子正樹ワイズ（共に伊東クラブ）、横山大ワイズ、芹澤千恵子ワイズ（共に御殿場ワイズ）から入会の動機、活動に関して話をされた。共通しているのは友人、知人から「楽しい会だよ」という誘いがあり入会されたということ。活動経験自体は浅いが、会に所属している事にはある程度、満足されているようであった。

1部が終わり、多くの参加者が富士五湖クラブの集いに向かわれたが第2部では7名が残り活発な話し合いがなされた。増田隆ワイズ、長谷川等ワイズ、細田泰秀ワイズ、青木一平ワイズ、綾野憲夫ワイズ（熱海グロリークラブ）、森田であった。

初めに綾野ワイズより2023年の資料を基に「支えるべきYMCAの存在が薄れているのでは」という口火が切られた。一時代、YMCAは華々しい活動を行った印象がある、今はそのような事を知ることが無い。YMCAを支えるのがYsの信条であるが支えるYMCAが弱体化していないか。この件に関し森田より話をした。1980年代、日本のYMCAは北米よりフィットネス、ウェルネスと言う理念を導入し全国展開を図った。今は何処のスポーツジムでも聞かれる言葉であり、活動の基本になっている。YMCAはその時代、時代にあった活動を展開している。過去にスイミングやジム、キャンプ、語学教室などを展開した。勿論、現在もそれらの活動は行っている。人々の働き方改革に沿って、保育園、学童クラブ、指定管理施設運営などの活動を開始した。活動の在り様は多様化してきている。公益的な活動として現在、熊本地震の被災者支援として避難所の運営を八代市から委託され担っている。熊本YMCAが受託し全国のYMCAから人材を派遣して支えている。YMCAは社会が必要としている活動にフォーカスを当て、時代に合った働きを成してきた。ここYMCA東山荘は111年前、キリスト教の夏季学校としてスタートした。今もキリスト教主義の学校利用は多いが、その他の学校や企業研修にもご利用いただいている。スイミング、語学教室、専門学校、学童クラブ、災害支援、キャンプ場、宿泊・研修施設、そのどれもがYMCAの活動であり、そこにそれを必要とする人が存在する。熱海クラブが行っているキャンプもそれを必要とする子どもたちが存在し、喜びとしている。熱海クラブの活動は尊いものであり、存在価値があると思う。YMCAは施設があって、存在するのでなく運動体としての総称と言われる。故に都市YMCAの法人格は様々である。公益財団、社会福祉、学校、NPO等々。宗教法人ではない。YMCAはアピールが不得手であり、その活動を社会に上手く訴えられていないことがある。

YMCAの活動は多様に渡っており、そのこと自体が特徴でもある。日本全国に34カ所に都市YMCAがあり35の大学に学生YMCAが存在する。世界では120の国々に約6,500万人のメンバーが所属している。そのYMCAを支えている1つの団体がワイズメンズクラブです。“知人に誘われたから”、“楽しみがあるから”入会の動機、きっかけは様々でも“他者のために”、“利他の精神で”、“地域への貢献を”、“青少年のために”等の心構えを持ち活動していくのがワイズメンズクラブ。故に都市YMCAが存在しない地域でも活動を継続できた。小さくてもワイズの信条の具現化が入会以後大切になってくる。

- 1、自分を愛する様に・・・
- 2、青少年のために・・・
- 3、世界的視野を持って・・・
- 4、義務をはたしてこそ・・・
- 5、会合には出席第一、社会には・・・

楽しい活動は大切だが、親睦のみの会は時間の経過と共に存在が薄れていく。長きに渡り継続してきた法人は確固たる理念を持ってきている。それが小さなものであっても。

細田ワイズからは「YMCAを意識して入会したのでなく、地域の働き人との交流の意味合いがあった。情報交流には役立った」、青木ワイズからは「知り合いから話があり入会した」と話された。細田ワイズは「熱海ワイズが行っているキャンプを維持するために会員増強を行ってきた。」と話された。子どもたちはその活動で大きな影響、喜びを得てきたと思う。活動の有様は様々なれど、信条に合った活動を継続しているワイズメンズクラブは強い。会員増強はこれからも課題であるとして会合は終了した。





チャリティーの説明
森田所長



横山Y's・大割Y's
御殿場クラブ安泰



期待の星☆芹澤Y's



富士山例会大盛況

【2026年ナンバーワン！】

勝間田 和彦

今年は話題の『トイ・ストーリー5』を観る機会がありました。長年愛されてきたシリーズだけあって、映像も物語も楽しめる素晴らしい作品でした。しかし、それ以上に私の心に残った映画があります。そのタイトルは『ちいかわ』です。

もともと私は、「かわいいキャラクターたちが日常と非日常が入り混じる独特の世界で活躍する作品」というイメージを持っていました。しかし、実際に観てみると、その世界観は予想以上に奥深いものでした。映画のストーリーで特に印象に残ったのは、それぞれの立場にそれぞれの正義があるという描き方です。自分たちにとって正しいと思う行動も、相手側から見れば悪として映ることがあります。単純な勧善懲悪ではなく、立場が変われば見え方も変わるという現実社会にも通じるテーマが描かれており、考えさせられました。

また、物語の中に散りばめられた伏線が見事に回収されていく展開にも引き込まれました。一見何気ない「場面」や「言葉」、さらには「歌」までもが後になって重要な意味を持ち、「そういうことだったのか」と気付かされる場面が何度もありました。作品の完成度の高さを感じたところです。そして何より忘れられないのが最後のシーンです。一件落着で終わると思っていたところに、どこか不穏さを感じさせる余韻が残されました。その瞬間、思わず「ゾクッ」としました。映画館を出た後もその場面が頭から離れず、その後の展開について考え続けてしまいました。

かわいいキャラクターたちが活躍する作品でありながら、友情や勇気だけでなく、正義とは何か、人の立場によって見える世界はどう変わるのかまで考えさせてくれる映画でした。今年観た映画の中で、私にとってのナンバーワンは間違いなく『ちいかわ』です。ぜひ機会があれば、多くの方にご覧いただきたいと思います。

